

D2660

## 東大阪東ロータリークラブ



HIGASHIOSAKA-EAST ROTARY CLUB



Club Weekly Report 2017-11-9 No.2543

創立：昭和40(1965)年3月4日

『ロータリアンとしての優しさを大切にしクラブを愛する心をもとう』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：田中 哲男 / 幹事：大塚 俊彦 / 会報資料担当：梶本 高久

## 今日の例会

- 卓話  
「ロータリー財団について」  
井上 家昌 君
- 今日の歌  
「君が代」  
「四つのテスト」  
ピアノ 岩島 佳子 先生
- 例会前 11 月度定例理事会

## 来週の例会予定

- 11 月 16 日 (木)  
歌唱指導  
岩島 佳子 先生

11 月は  
ロータリー財団月間 です

## 先週の出席報告(10/26)

先週 (11/2) 休会  
(10/26) の出席者数：31 名 (1) 名  
ゲスト：9 名  
米山奨学生 施 志宇 君  
10/26 HC出席率：83.33%

※ ( ) 内数字は出席免除会員の出席者数

会員：61 名 (免除 14 名)

	10/12	10/19	10/26
HC 出席	公休	36(3)名	31(1)名
MU 出席		6(1)名	9(0)名
修正出席率		82.35%	83.33%

## 会長の時間

田中 会長

10 月 26 日にオ・セイリュウにて友人紹介例会が行われました。吉崎増強委員長をはじめ、委員会の皆様には大変お世話になりました。会員の皆様方の御努力の結果、当日には 8 名の友人・知人の皆様の御参加をいただき大変充実した素晴らしい友人紹介例会になりました。本当に有難うございました。心より厚く御礼申し上げます。

現在我がクラブは今年度 2017 年 7 月 1 日スタート時点で 61 名の会員数であります。5 名の純増を目標として下さいと増強委員長にはお願いしておりましたが、先日友人紹介例会での私の感触は、3～4 名の方々には実際に入会していただけるのでは？というところでもあります。

もちろん正式な手続きを経て、会員選考という大切なプロセスを通過していただくかねばなりません、クラブと致しまして、会員増強は常に継続的に取り組まねばならない永遠のテーマであります。

会員の皆様方におかれましては、引き続きお知り合い及び仕事上の関係先等々にて適格なロータリー人材を発掘スカウトする努力を何卒宜しくお願い申し上げます。



11 月第 1 週 (2 日) は休会でありました。(祝日の週です) このタイミングを活用致しまして、姉妹クラブ・タイのヤンナワ RC の通常例会 (11 月 1 日・水曜日) に出席させていただきました。今年度の会長就任後初めての訪タイでもあり、ヤンナワ RC の皆様方にはいつも通り大歓迎をしていただきました。今回の訪問は主に 2 案件お話しする事が目的でありました。1. 短期青少年交換の実施計画そして 2. 八尾東 RC よりの御提案である「海外姉妹クラブの訪日・IM ロータリーデーへの参加・討議」についてです。

結論はその場ではすぐに出せるものではないという事でもあり、後日御連絡をいただく約束となりました。

プミポン前国王の国葬の御準備もあつた中にもかかわらず、私の訪問に誠心誠意の御対応をいただけた事に心より厚く御礼を申し上げます。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町 1-11-12 ホテルセイリュウ 302 号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

## 幹事報告

### 大塚幹事

《これからの予定》

- 【1】 本日例会前、11月度定例理事会、例会後、社会奉仕委員会
- 【2】 11/16 (木) 例会後、第2回ホームページリニューアル検討会
- 【3】 11/23 (木) 祝日・休会

＜連絡事項＞

- 【1】 明日、11/10 (金)～11 (土) は地区大会です。当日は必ず名札をご持参いただきますようよろしくお願い致します。2日目の本会議ではライブ映像にて各クラブの紹介がございます。我々参加者もスクリーンに映るそうですのでクラブごとに固まってご着席をお願い致します。
- 【2】 会員名簿の訂正をお願い致します。  
山本 行伸会員 携帯番号  
誤：090-3487-4509 → 正：090-3487-4506

【地区大会 受付開始時間と場所】

○11月10日 (金) 於：帝国ホテル大阪 3階

登録開始 14:00～  
開 会 オープニングセレモニー 15:00～  
分科会1・2 16:00～  
家族の集い 15:30～

○11月11日 (土) 於：NHK大阪ホール

登録開始 12:00～  
開 会 13:00～

## 委員会報告

◎会員増強・職業分類委員会 吉崎委員長  
先般の友人紹介例会には、会員31名、ゲスト8名をお迎えし無事に終了することが出来ました。ご参加の皆様、ご紹介いただきました皆様ご協力いただき有難うございました。

◎職業奉仕委員会 吉川委員長  
＜出前授業の報告＞

平成29年10月27日 (金) 東大阪市立楠根中学校の依頼により、中学一年生5クラスを対象とした出前授業を実施しました。今回は、我がクラブと、東大阪みどりロータリークラブ、大阪ネクストロータリークラブとの3クラブ合同の奉仕事業として企画し、我がクラブからは、石田肇会員、井戸田精一会員、吉川宏会員が、東大阪みどりRCからは杉森隆志会員が、大阪ネクストRCからは齋藤安似子会員が講師となって、それぞれの会員の職業・仕事をテーマにして、授業を行いました。30分の授業を2回、質疑応答の時間もあり、生

徒さんとともに各会員がとても有意義で、貴重な経験、『職業奉仕』を実施することが出来たと感じております。



### ＜職場見学会 報告＞

平成29年11月2日 (木) 金村会員の職場見学会を実施しました。

米山奨学生の施志宇君も含めて総勢11名の参加があり、金村会員のご協力をいただきながら約2時間半に及ぶ時間もとても短く感じられるほど、とても価値ある貴重な時間を過ごすことができました。参加した誰もがロータリーの職業奉仕の真髄に触れることができたのではないかと思います。



## ◎R財団委員会

井上委員長

この度、石田会員がマルチプル3回目をお引き受け下さいました。また、勝山会員、木村会員、金村会員、河村 会員、古川会員、井戸田会員にご協力いただきました。有難うございました。11月のレートは114円です。引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## ◎青少年奉仕委員会

岡田米山奨学担当

この度、田中(哲)会長がマルチプル3回目をお引き受け下さいました。また、井上会員、石田会員、天野会員、北埜会員、吉崎会員、森会員、駒林会員、大橋会員、大塚会員、藤本会員、田原会員にご協力いただきました。有難うございました。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 田中会長 タイ・ヤンナワRC例会訪問



## 第1回IM(情報集会)第3班 報告

リーダー 水上 サブリーダー 吉崎

日時 2017年9月5日(火)

場所 和牛処 助春

出席者 勝山 石田 芳田 田中 水上 河村  
藤本 戸田 田原 吉崎

内容 水上リーダーの発案の元、『中長期委員会アンケート集計結果を見て、例会回数や奉仕内容等に関して意見を出そう』というテーマで話し合いを行った。

(発言順)

・例会は4回ある方が何かと連絡が取りやすい。イベントの多い上半期は多くして、イベントが少ない下半期は少なくするのはどうか

・卓話の順番が年度によって引き継がれていないような気がする。卓話順のルールはある程度決まっている方が準備の関係上良いのではないかと。(←現在は、卓話順は毎年のプログラム委員が決めているため、引き継がれない)

・生駒学園への奉仕活動については、先方も色々な奉仕を各方面から受けている様なので、内容については検討した方が良いのでは。

・海外で朝例会に出席した。なかなか朝も良いと感じた。

・例会は朝や夜など昼ばかりじゃなくてバリエーションがあつてよい。

・新入会員が入った時に、歓迎会を企画してもよいのではないかと。交流するチャンスを増やしてあげる方がよい。(紹介者がサポートする必要もある)

・先般の石中ブラスバンド部の演奏は良かった。卓話に変化や魅力があることが大切。外部卓話者に対する謝礼をクラブ持ちだった頃は気楽に声をかけられた面もあったのでは。

・例会が毎週ないとなると、うっかり忘れてしまったりする。

・奉仕活動は、人生にインパクトがあるようなものであつてほしい。

・国際奉仕をもっと考え実施すべき。

さまざまな意見が活発に交わされ、美味しいお肉と共に盛り上がりました。

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること：

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること：

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること：

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 【卓 話】

### ロータリー財団について

(THE ROTARY FOUNDATION: TR F)

ロータリー財団委員長  
井上 家昌

#### 1. ロータリー財団とは

正式名称は「国際ロータリー財団」です。国際ロータリーの目的を推進するための単独の信託機関として全資産を維持、投資、管理、運営しています。非営利組織でロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの寄付で支えられています。

#### 2. ロータリー財団の使命

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済する事を通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

#### 3. ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう (Doing good in the world)」

財団が今年2017年に創立100周年を迎えることを踏まえて財団管理委員会は財団の奉仕の第二世紀に移行するため「未来の夢計画」を立てています。

#### 4. ロータリー財団の歴史

1917年、6人目のロータリー会長 アーチ・クランプ (ARCH C.KLUMPH) が「基金を作り、世界的規模で慈善・教育・その他社会奉仕分野で何か良いことをしよう」とアトランタ国際大会で提案しました。

この基金が発展し 1928年ロータリー財団と名付けら

れ、国際ロータリーから独立した別機関となりました。

#### 5. 財団プログラム

- 1) ポリオ撲滅運動 (ポリオ・プラス) 1985年特別プログラム
- 2) ロータリー平和センター (平和フェロー) 2002年開始
- 3) 補助金プログラム  
2013年 新補助金プログラム

シェアシステム

DDF (District Designated Fund) 地区財団活動資金

WF (World Fund) 国際財団活動資金

- 補助金 1) グローバル補助金 2) 地区補助金  
3) ポリオ・プラス平和センター

#### 6. 財団への寄付

- 1) 年次寄付 (Annual giving)
- 2) ポリオプラス基金寄付 (Polio Plus Fund Giving)
- 3) 恒久基金寄付 (Endowment Fund Giving)
- 4) その他

2017-18年 地区財団寄付目標

・1人当たり \$150以上の年次寄付

・各クラブで一人以上の恒久基金を

・1人当たり \$50以上のポリオプラスを

寄付と認証 (寄付に対する感謝) 寄付額は年々累計

(1) 「財団の友」会員: 年次寄付へ毎年100ドル以上

(2) ポール・ハリス・フェロー: 年次寄付・ポリオプラス・財団承認補助金に累計1,000ドル以上寄付

(3) マルチプル・ポール・ハリス・フェロー: その後1,000ドル毎

(4) ベネファクター: 恒久基金に1,000ドル以上寄付 (1回のみ)

(5) ポール・ハリス・ソサエティ: 毎年1,000ドル以上年次寄付・ポリオプラス寄付

(6) メジャードナー: 累積寄付の合計が10,000ドル以上に達した人 (含ベネファクター)

(7) アーチ・クランプ・ソサエティ: 現金の寄付累計が25万ドル以上の寄付

(8) ロータリークレジットカードの紹介  
2006年9月クレジットカード・プログラムの開始  
オリコ・ロータリーカード ビジネス・ゴールド・スタンダード 利用金額の0.3%~0.5%と年会費の一部がロータリー財団の寄付に。本年度からロータリー・ダイナースクラブカード追加

(9) “Every Rotarian Every Year” の推奨